

わたしたちが運ぶのは未来です

運輸省

みなと しみず

発行所

第五港湾建設局
清水港工事事務所
御前崎港事務所
下田港事務所



御前崎港新監督測量船「ふじ」

去る、11月11日(月)熱海市の岡本ホテルで、伊豆地域のみなとを考える市町村長懇談会が開催されました。

本懇談会は、五建管内(静岡県・愛知県・三重県)を7つのブロックに分けて行っているもので、第9次港湾整備五ヶ年計画・第6次海岸整備五ヶ年計画の施策の実現に向けて、効率的・効果的な事業実施のため、第五港湾建設局長が港湾所在市町村長の意見要望等を直接聞く機会を設ける必要があると考え企画したものです。今回は伊豆地域の8市町村の首長に集まって頂き開催しました。

懇談会では、当清水港工事事務所善見所長の司会により進められ、早田局長は、「他省庁の事業との連携、地域性のある事業を生み出すことが必要。意見、要望は五ヶ年計画の推進やその後の計画を練るためにも生かしていきたい。」と挨拶。続いて五建企画課長、海整課長から港湾整備事業等の説明がなされた後、各市町村長から地域の実状、意見、要望等が活発に述べられ、意見交換がなされた。

当日は、マスコミ関係者13社も取材に来て、直接五建局長と市町村長との熱気あふれる話し合いに、熱心にメモを取るなどしていました。

懇談会出席者(市町村) 川口熱海市長・鈴木伊東市長・池谷下田市長・山針南伊豆町収入役・石田松崎町長・山本賀茂村長・大木土肥町長(沼津市長代理) 小松水産海浜課長
(当局) 早田修一局長他当局幹部職員

〈静岡県(オプザバー)〉 斎藤土木部港湾担当参事・渡邊港湾課長・大村港湾企画室長

※静岡地域については、12月3日に静岡市のクーパー会館で開催。



効率的・効果的な港湾整備をめざして

伊豆地域のみなとを考える市町村長懇談会開催

伊豆地域のみなとを
考える懇談会

市町村長の主な意見

① 観光振興のための基盤整備

・ 2000年の温泉博を
目指した関連施設の整備を
促進したい。

(熱海市、伊東市)

・ 人工海浜・親水緑地等の
海岸環境整備事業の促進
をお願いしたい。

(熱海市、伊東市、
下田市、土肥町)

・ マリーナの観光商業施設
の建設を三セク方式によ
り進めているが、公共事
業による防波堤の整備促
進をお願いしたい。

(伊東市)

・ 地下駐車場の整備、離岸
堤を利用した噴水施設の
設置などを図りたい。

(熱海市)

② 町づくりと港づくりの連携

・ 港湾区域に交流拠点、賑
わいの場を創出するとと
もに、旧町内との動線を
整備し、海と連携した地
域の活性化を図りたい。

(下田市)

③ 駿河湾海上ネットワーク
形成のための基盤整備

・ 関西方面も視野に入れた
伊豆全体への誘客の玄関
口、観光ネットワークの
形成、TSLの寄港、地
震対策のための新港湾の

建設促進をお願いしたい。

(松崎町)

④ 災害に強い港づくり

・ 津波対策も兼ねる避難港
防波堤の建設促進をお願
いしたい。

(下田市)

(沼津市)

・ 防潮堤の整備、水門の自
動化など海岸高潮事業の
整備促進をお願いしたい。

(沼津市、下田市、
南伊豆町、賀茂村)

⑤ 快適で活力ある港づくり

・ フェリーの大型化などに
対応した港づくりをお願
いしたい。

(土肥町)

・ 狭い港内に砕石運搬船、
貨物船、漁船が輻湊して
いるため、新港建設を図
りたい。

(賀茂村)

・ 内港での賑わいの場の創
出及び水産流通のための
港湾整備を図りたい。

(沼津市)

⑥ 環境と共生する港づくり

・ 景観にも配慮した防波堤・
離岸堤の整備、親水機能
を付加した施設づくりを
お願いしたい。

(複数の市町村)

御前崎港
新監督測量船
「ふじ」就航

〜新旧交代無事終わる〜



この9月、建造以来16年間
厳しい海象条件の御前崎港で、
防波堤建設等の監督・検査業
務や測量・調査業務に従事、
活躍してきた監督測量船「ふ
じ」がその任務を終え、監督
測量船新「ふじ」が二代目とし
て引き継ぐこととなりました。

二代目「ふじ」は、平成8
年3月から、三重県伊勢市の
(株)強力造船所にて、搭載装置
も含め総工費約1億円で建造
され、9月2日完成しました。
全長17m、総トン数22トン、
最大速度25ノット、最大搭載
人員25名で、水中テレビやG
PSなどを搭載し、機能はさ
らにグレードアップしました。

初代と比べて大きさはそれほ
ど変わりませんが、スタイル
は斬新かつ優美なものに一新
し、カラーリングは、運輸省
のシンボルマークであるグリー
ンとブルー、第五港湾建設局
のカラーであるオレンジとブ
ルーグリーンを取り入れ、そ
の配色やデザインは東海大学
短期大学の東恵子助教授に
検討をお願いしました。

船名については、事務所職
員のみでなく、地元御前崎町
の協力を得て公募し、町職員

及び小中学生からも多くの名
前が寄せられ、その中から事
務所職員による投票の結果、
これまでの監督測量船と同じ
「ふじ」という名前に決定し
ました。

9月11日には、御前崎町長、
相良町長を始め地元関係者等
を招き完成披露の試乗会を開
催しました。

御前崎港は、近年、県中西
部を控えた流通拠点港として
その重要性を増しており、コ
ンテナ取り扱いを見据えた県
内最大級の多目的大水深パー
ス、14m岸壁の着工も今年度
中に予定されており、二代目
「ふじ」の今後の活躍が期待
されています。

※写真は表紙をご覧ください。

清水港の新港湾計画を勉強
清水商工会議所(金融保険部会)

去る8月22日、清水港工事
事務所で清水商工会議所金融・
保険部会の会員の、清水港港
湾計画の勉強会がありました。

参加者は各銀行、証券、保
険会社の部長、支店長31名で、
当所所長による、清水港の現
状、他港との関係、外国との
関係、新港湾計画等の説明に
熱心にメモを取り、清水港整
備に強く関心を示していまし
た。

説明後、監督測量船「まさ
き」・「しもだ」の2船に分乗



TSL防災船の
船名決まる

静岡県では、防災船及びカー
フェリーとして使用するため
6月にTSLの実験船を購入
し、現在三菱重工業長崎造船
所で改造工事中です。

このTSL防災船の船名は、
10月に静岡県が一般公募を行
い「希望」に決定しました。

4月からは、清水港を基地
港とする防災船となり、7
8月の期間は、清水港〜下田
港を一日2往復する高速カー
フェリーとしても利用される
ことになっています。

TSLの航行安全対策委員会が発足

TSLの防災船の航行の安全性について調査検討する「静岡県TSL運行に関する船舶安全対策調査検討会」の第1回会合が10月29日静岡市内のホテルで開催されました。本調査は、TSL防災船運航に際して、海上交通に与える影響、運行ルート及び出入港時の安全対策並びに安全管理体制等について調査検討することを目的としています。

航行安全対策委員会は、岩井聴東京商船大学名誉教授を委員長として、学識経験者4名、海事関係者8名、関係行政機関7名(五建清水港含む)で構成されています。今後あと3回の委員会を開き、来年5月を目途にとりまとめられる予定です。

清水港開港100周年 記念事業に向けて

清水港は、1999年に開港100周年を迎え記念事業が計画されています。

このため8月に「清水港開港100周年記念事業企画・準備会議」が発足しましたが、その企画専門部会(部会長・酒匂敏次東海大学海洋学部長)が10月3日開催され、基本計画作成方針等ハード、ソフト

面の多彩な事業展開の検討が本格的にスタートしました。

「ベイズ」の ホームページ

本誌前号でお知らせしたインターネットのホームページを、10月15日に開設しました。当所が平成4年度から発行してきた清水港情報誌「ベイズ」シリーズを取りまとめ、パソコンから検索できるようにしたものです。

パソコンの画面上で、清水の観光・イベントのボタンをマウスでクリックすると、「清水みなと祭り」や「全国少年草サッカー大会」などのイベント、「日本平」などの観光スポット、その他寺院や記念碑などの目次が現れます。そして、目次の各項目をクリックすればその情報を引き出すことができます。

平成4年度の「ベイズ」はイベントと観光、5年度の「ナイトビューベイズ」は夜景、6年度は異国情緒の「エキゾチックベイズ」、清水港の日本一を特集した7年度の「ワンダーベイズ」。この4冊から選ばれた150項目(11月現在)の中には、あなたの知らない清水があるかもしれません。

その他、ホームページには、清水港のコンテナ貨物などのデータ、当事務所の紹介、そ

して本誌「みなとしみず」のダイジェストなどが掲載されています。

開設から1ヵ月、11月15日現在二百八十件のアクセスを頂いております。また、Eメールも各方面から頂戴し、中には、港湾工学を学んでいるという女子学生の方もいらっしゃいました。

メールを下さった方、ホームページを見て下さった方、ありがとうございます。

今後、内容、見やすさともに向上させて参ります。皆様のアクセスとメールをお待ちしております。

ホームページアドレス
<http://www.across.or.jp>

メールアドレス
simiz5kn@po.across.or.jp

清水の史跡 ⑨

☆ ちゃつきり節民謡碑 ☆

「唄はちゃつきりぶし、男は次郎長」で始まる「ちゃつきり節」は静岡鉄道株式会社昭和2年狐ヶ崎遊園地の開園を記念し、その宣伝のため、詩人北原白秋に作詞を依頼し誕生したものです。依頼された白秋は、作詞のため静岡に投宿、思うように作詞できな

らよ」を歌詞に取り入れ一気に30番まで書いたということです。

作曲は町田嘉章、踊りは花柳徳太郎が振り付け、今風というならば静岡鉄道のコマージュルソングでしたが、昭和32年第12回国民体育大会に静岡、清水両市の婦人により披露されたマステージが、役員や選手団に強い印象と感動を与え、一躍静岡県の代表的な民謡になりました。



この民謡碑は、その誕生40年を記念して、昭和42年日本平山頂にあるロープウェイ発着場となっているターミナルセンターの屋上に設置されました。誕生のきっかけとなった狐ヶ崎遊園地は、昭和43年狐ヶ崎ヤングランドとして新しく生まれ変わりましたが、平成6年残念ながら閉鎖されました。

御前崎 事務所だより

◆好評!「ふじ」体験乗船 御前崎シーサイド・ドリーム'96

10月の秋空のもと、御前崎港を中心にマリナーパーク、なぶら館で産業フェスティバル「シーサイド・ドリーム'96」が開催されました。「海と風の街」を謳う御前崎ならではの催しもの、帆船「海星」のセイルトレーニング体験航海やマリンスポーツ体験会、その他、ダンスコンテストやアマチュアバンド・コンサートなどが行われました。



御前崎町の一員である我々御前崎港事務所では、先月就役したばかりの新監督測量船「ふじ」による御前崎港遊覧を行いました。当日は穏やかな天候でしたが、ときどき現れる大きな波に、乗船者からは歓声があがり、御前崎の波を満喫していました。1回30

分くらいの乗船で、御前崎灯台を海から眺め、最大速度 25 ノットを体験し、我々の仕事や、港の役割を説明し、なかなかの好評でした。体験乗船は、午前中に 6 回行い、町内はもとより藤枝市や小笠町からの応募もあり 120 名以上の人たちが参加しました。

◆子供と海のふれあいに一役

御前崎港の監督測量船旧「ふじ」は、7・8 月の夏休み期間に子供たちの港内見学にも大活躍しました。

7 月 16 日には、長野県王滝村の王滝中学校と御前崎中学校の交流会の一環として 1 年生 40 名が乗船しました。

8 月 9 日には、御前崎町主催のマダイの体験放流を御前崎小学校 5 年生 65 名が乗船して行いました。子供たちに海との親しみを持たせながら栽培漁業を推進することを目的として実施されたもので、マダイの稚魚 1000 匹を放流しました。

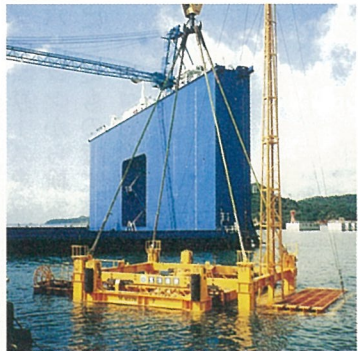
8 月 16 日には、静岡県教育委員会等が主催する「御前崎環境子供サミット」の体験学習活動の 1 コースとして子供たち 40 名が乗船しました。子供たちが海とふれあい、海・港への理解が高まることは大切なことで、これからも体験乗船で子供たちが海を身近に感じられるようになればと思っています。

下田港 事務所だより

◆大水深防波堤築造に 捨石ならし機を投入

現在施工中である下田港防波堤（D 区）築造工事で、五建管内では初めて「捨石ならし機」による本ならし作業が 9 月 30 日から行われました。

このならし機は、8 本の足とレーキ、ローラーから構成されており、ならし面を自由に歩行し、計画高より少し高めにレーキで起伏を修正し、ローラーで転圧して、±5 cm の本ならし施工を行います。



一日の作業能力は、約 160 m²（8 時間作業）、作業可能な水深は約 30 m という性能をもっています。また、ならし機は支援母船上の操作装置とケーブルで接続されているため、海上からの操作ができ、従来まで危険を伴い困難であった大水深での潜水士による人力作業にかわり作業が安全に行

えると共に、大幅な工期の短縮が可能になります。10 月 15 日にならし作業は終了し、11 月に予定している消波工内蔵双胴型ケーソン第 1 号函の据付にむけて着々と準備が進んでいます。

コラム

●清水日本平マラソン 秋風とともに快走

10 月 27 日、清水日本平マラソン大会が開催され、当所職員 10 名が参加しました。日本平のマラソンは、年に 2 回開催され、秋のこのマラソンは、地元清水での開催とあって当所職員の出場は年々増えていきます。今回は、清水田「S」というチーム名を掲げるとともに、T シャツを揃え、10 km、20 km のコースにチャレンジしました。

絶好のマラソン日和の下、日本平の上り坂はきついものの、眼下に見える清水の町の眺めは印象的で、給水所でスポンジがうまく取れないこともありましたがそこはご愛嬌、全員秋の一日を堪能しました。次回は桜の咲く頃、またエントリリーしたいと思います。

●管内野球大会開催される
第 28 回管内野球大会が 10 月 10 日秋晴れの下名古屋市で開催されました。今回は、二度雨天により順

延され、主催者側より中止の申し入れがありました。管内野球部員の熱意により開催されました。試合結果については、残念ながら決勝進出は果たせませんでした。最低の目標であった初戦突破を見事果たし、選手も多少なりともほっと胸をなで下ろしました。わが事務所の野球部員は、清水・下田・御前崎と分散しているため、合同練習も出来なかつたですが、本番でのチームワークは見事なものでした。（宮崎正治）

清水港への入港予定 客船・帆船案内

・淡青丸（練習船）12月8日 10時	・東京大学海洋研究所
・飛鳥（客船）12月17日 7時	・クリスマスジャズクルーズ
・鶴洋丸（練習船）12月18日	・長崎大学水産学部
・新さくら丸（客船）12月27日 8時	・第 29 回青年の船
・新さくら丸（客船）1月7日 10時	・第 29 回青年の船
・ニューゆつとびあ（客船）	3月24日 8時
・ニューゆつとびあ（客船）	4月1日 10時

※気象状況等の都合により、日程等が変更になる場合があります。お出掛け前に、清水港管理局 ☎53-2203 でご確認ください。

管内の動き

10月	3日 常滑市清水港視察
	18日 五建清水会
	21日 清水港みなと色彩計画委員会
	23日 下田市・武方浜周辺地域開発構想策定委員会
	23日 下田港内の津波対策連絡調整会議
	29日 静岡県 T S L 運行安全対策委員会
	31日 静岡県緊急輸送路幹事会
11月	8日 清水港百周年委員会
	11日 伊豆地域のみなとを考える市町村長懇談会
	15日 御前崎町、松崎町議員団御前崎港視察
	18日 東海地区港湾整備促進大会（全国都市会館）
	22日 下田港内の津波対策連絡調整会議
	25日 御前崎港ポルトセミナー（掛川グランドホテル）
	27日 鹿嶋市生活安定事業団理事清水港視察
12月	3日 静岡地域のみなとを考える市町村長懇談会（静岡市クール会館）
	9日 静岡県経済同友会御前崎清水港視察

＊発行所＊
清水港工事事務所
〒424 静岡県清水市日の出町七一二
☎（〇五四三）五二一四一四六代